

■■雨天結構？■■

今回は実際にほぼ1日中雨ということがあったわけで、コミケットでも常に雨という状況は考慮に入れておく必要がある。特に夏場の場合、降る時には一気に激しく降ることが多いので、対策を講じていないと一瞬ですぐ濡れになってせっかく手に入れた物も台無しになってしまうだろう。荷物の増加を最小限に抑えつつ、自分の身と戦利品を死守しなければならない。

●知っておこう！コミケットで傘が非推奨な理由

雨対策といえば誰もがまず折り畳み傘を思い浮かぶだろうが、コミケットでは基本的に会場内及び入場待機列等では、傘は可能な限り使用すべきではない。非常に多くの参加者が来場するコミケットでは、他の様々なイベントよりも待機列を圧縮し、入場や購入までにかかる時間を少しでも短くする努力が払われている。そのために、前後左右肩が触れあうほどの近さで他の参加者が密集しているので、傘をさすと、傘の骨の先端は周囲の参加者の顔や頭の高さになる。

実際に待機列で他の参加者の傘の骨で顔や頭を突かれるトラブルが頻発していて、非常に危険なのだ。

その上、傘の表面を流れた雨水は全て他の参加者に振りかかることになるので、どうあっても迷惑になってしまう。したがって、自宅から会場まで使う分には問題ないが、コミケットの会場周辺の行列や参加者が密集している場所では傘ではなくポンチョやレインウェアなどで雨をしのぐしかない。この大前提を理解した上で、対策を考えてほしい。



■会期中に雨が降りだした場合

こればかりは半分運次第というしかないが、夏の雨は降り始めから一気に雨脚が強くなるので、例え雨装備を持っていても、もたもたしていると一瞬ですぐ濡れになりかねない。待機中は天候の推移にも気をつけておいて、雲が濃くなってきた、急に涼しい風が吹いてきた、遠くで雷鳴が聞こえてきた、といった雨の兆候があったらとりあえず雨装備をすぐ出せる位置に移したり、手提げ袋やカバンに袋をかけたりしておこう。戦利品は何としてでも守らねばならない。早め早めに手を動かしはじめるのがカギだ。

紙袋類は濡れると一気に強度が低下するので、雨が降りだした、あるいは降っているなら最優先で対策を講じねばならない。そのためにも、予備の折りたためるバック（ナイロン製ショッピングバッグやエコバッグなど）と、指定ごみ袋などの大きめのビニール袋は数枚カバンに常備しておこう。

また、特に夏はかいた汗がカバンに浸透して中身を痛めることもあるので、雨が降る降らないに関係なく、本やグッズ類は買った端からビニール袋やプラケース等に入れてから、カバンに入れておくようにすれば安心だ

■朝から雨の場合

ビギナーにとって、一番確実かつおススメの対策は、朝から雨ならあまり早く会場に行かないことだ。

例え1時間でも、不慣れな雨の中で待機し続けることは想像以上にキツイので、無理せず正午過ぎに会場に着くようなスケジュールに変更しよう。正午前後に未明からの待機列が全て会場に入り、以降は会場への出入りが自由になるので、その辺りに会場入りすれば雨の中待ち続けなくてもすむ。

現状、入場待機列の解消はかなりスムーズに行われているので、午前10時の開場時間以前からずっと待機していても、開場後にビッグサイトに着いて列の後端に並んでも、実際に入場できる時間には概ね1時間以内の差しかつかない。その差分早く入るために増える荷物や、体力の消耗、体調不良のリスクなどを天秤にかけたら、そこは無理してまで並ぶべきところではないだろう。

特にビギナーほど、早く入らなければとやみくもに早くから待機してしまいがちだが、冷静な判断を！

それでも並ぶのならば、最低でも1、2時間は雨の中耐えられる装備が必要になる。次のリストを参考にして準備を整え、体調も万全にして臨んでほしい。

そして、待機中に調子がおかしいな、と思った時には、決して無理をせず早めにスタッフに申し出て救護所に行くか、その時点で帰宅すること。入場前に調子を崩してしまった時点で、これからの会期を動き通すのは無理だ。途中で帰宅しようにも完全に体調を崩して動けなくなってしまってからでは、遅い。

■■雨天結構？■■

今回は実際にほぼ1日中雨ということがあったわけで、コミケットでも常に雨という状況は考慮に入れておく必要がある。特に夏場の場合、降る時には一気に激しく降ることが多いので、対策を講じていないと一瞬ですぐ濡れになってせっかく手に入れた物も台無しになってしまうだろう。荷物の増加を最小限に抑えつつ、自分の身と戦利品を死守しなければならない。

●知っておこう！コミケットで傘が非推奨な理由

雨対策といえば誰もがまず折り畳み傘を思い浮かぶだろうが、コミケットでは基本的に会場内及び入場待機列等では、傘は可能な限り使用すべきではない。非常に多くの参加者が来場するコミケットでは、他の様々なイベントよりも待機列を圧縮し、入場や購入までにかかる時間を少しでも短くする努力が払われている。そのために、前後左右肩が触れあうほどの近さで他の参加者が密集しているので、傘をさすと、傘の骨の先端は周囲の参加者の顔や頭の高さになる。

実際に待機列で他の参加者の傘の骨で顔や頭を突かれるトラブルが頻発していて、非常に危険なのだ。

その上、傘の表面を流れた雨水は全て他の参加者に振りかかることになるので、どうあっても迷惑になってしまう。したがって、自宅から会場まで使う分には問題ないが、コミケットの会場周辺の行列や参加者が密集している場所では傘ではなくポンチョやレインウェアなどで雨をしのぐしかない。この大前提を理解した上で、対策を考えてほしい。



■会期中に雨が降り出した場合

こればかりは半分運次第というしかないが、夏の雨は降り始めから一気に雨脚が強くなるので、例えば雨装備を持っていても、もたもたしていると一瞬ですぐ濡れになりかねない。待機中は天候の推移にも気をつけておいて、雲が濃くなってきた、急に涼しい風が吹いてきた、遠くで雷鳴が聞こえてきた、といった雨の兆候があったらとりあえず雨装備をすぐ出せる位置に移したり、手提げ袋やカバンに袋をかけたおこう。戦利品は何としてでも守らねばならない。早め早めに手を動かしはじめるのがカギだ。

紙袋類は濡れると一気に強度が低下するので、雨が降り出した、あるいは降っているなら最優先で対策を講じねばならない。そのためにも、予備の折りたためるバック（ナイロン製ショッピングバッグやエコバッグなど）と、指定ごみ袋などの大きめのビニール袋は数枚カバンに常備しておこう。

また、特に夏はかいた汗がカバンに浸透して中身を痛めることもあるので、雨が降る降らないに関係なく、本やグッズ類は買った端からビニール袋やプラケース等に入れてから、カバンに入れておくようにすれば安心だ

■朝から雨の場合

ビギナーにとって、一番確実かつおススメの対策は、朝から雨ならあまり早く会場に行かないことだ。

例え1時間でも、不慣れな雨の中で待機し続けることは想像以上にキツイので、無理せず正午過ぎに会場に着くようなスケジュールに変更しよう。正午前後に未明からの待機列が全て会場に入り、以降は会場への出入りが自由になるので、その辺りに会場入りすれば雨の中待ち続けなくてもすむ。

現状、入場待機列の解消はかなりスムーズに行われているので、午前10時の開場時間以前からずっと待機していても、開場後にビッグサイトに着いて列の後端に並んでも、実際に入場できる時間には概ね1時間以内の差しかつかない。その差分早く入るために増える荷物や、体力の消耗、体調不良のリスクなどを天秤にかけたら、そこは無理してまで並ぶべきところではないだろう。

特にビギナーほど、早く入らなければとやみくもに早くから待機してしまいがちだが、冷静な判断を！

それでも並ぶのならば、最低でも1、2時間は雨の中耐えられる装備が必要になる。次のリストを参考にして準備を整え、体調も万全にして臨んでほしい。

そして、待機中に調子がおかしいな、と思った時には、決して無理をせず早めにスタッフに申し出て救護所に行くか、その時点で帰宅すること。入場前に調子を崩してしまった時点で、これからの会期を動き通すのは無理だ。途中で帰宅しようにも完全に体調を崩して動けなくなってしまってからでは、遅い。

■■雨天結構？■■

今回は実際にほぼ1日中雨ということがあったわけで、コミケットでも常に雨という状況は考慮に入れておく必要がある。特に夏場の場合、降る時には一気に激しく降ることが多いので、対策を講じていないと一瞬ですぐ濡れになってせっかく手に入れた物も台無しになってしまうだろう。荷物の増加を最小限に抑えつつ、自分の身と戦利品を死守しなければならない。

●知っておこう！コミケットで傘が非推奨な理由

雨対策といえば誰もがまず折り畳み傘を思いつくだろうが、コミケットでは基本的に会場内及び入場待機列等では、傘は可能な限り使用すべきではない。非常に多くの参加者が来場するコミケットでは、他の様々なイベントよりも待機列を圧縮し、入場や購入までにかかる時間を少しでも短くする努力が払われている。そのために、前後左右肩が触れあうほどの近さで他の参加者が密集しているのだから、傘をさすと、傘の骨の先端は周囲の参加者の顔や頭の高さになる。

実際に待機列で他の参加者の傘の骨で顔や頭を突かれるトラブルが頻発していて、非常に危険なのだ。

その上、傘の表面を流れた雨水は全て他の参加者に振りかかることになるので、どうあっても迷惑になってしまう。したがって、自宅から会場まで使う分には問題ないが、コミケットの会場周辺の行列や参加者が密集している場所では傘ではなくポンチョやレインウェアなどで雨をしのぐしかない。この大前提を理解した上で、対策を考えてほしい。



■会期中に雨が降りだした場合

こればかりは半分運次第というしかないが、夏の雨は降り始めから一気に雨脚が強くなるので、例え雨装備を持っていても、もたもたしていると一瞬ですぐ濡れになりかねない。待機中は天候の推移にも気をつけておいて、雲が濃くなってきた、急に涼しい風が吹いてきた、遠くで雷鳴が聞こえてきた、といった雨の兆候があったらとりあえず雨装備をすぐ出せる位置に移したり、手提げ袋やカバンに袋をかけたりしておこう。戦利品は何としてでも守らねばならない。早め早めに手を動かしはじめるのがカギだ。

紙袋類は濡れると一気に強度が低下するので、雨が降りだした、あるいは降っているなら最優先で対策を講じねばならない。そのためにも、予備の折りたためるバック（ナイロン製ショッピングバッグやエコバッグなど）と、指定ごみ袋などの大きめのビニール袋は数枚カバンに常備しておこう。

また、特に夏はかいた汗がカバンに浸透して中身を痛めることもあるので、雨が降る降らないに関係なく、本やグッズ類は買った端からビニール袋やプラケース等に入れてから、カバンに入れておくようにすれば安心だ

■朝から雨の場合

ビギナーにとって、一番確実かつおススメの対策は、朝から雨ならあまり早く会場に行かないことだ。

例えば1時間でも、不慣れな雨の中で待機し続けることは想像以上にキツイので、無理せず正午過ぎに会場に着くようなスケジュールに変更しよう。正午前後に未明からの待機列が全て会場に入り、以降は会場への出入りが自由になるので、その辺りに会場入りすれば雨の中待ち続けなくてもすむ。

現状、入場待機列の解消はかなりスムーズに行われているので、午前10時の開場時間以前からずっと待機していても、開場後にビッグサイトに着いて列の後端に並んでも、実際に入場できる時間には概ね1時間以内の差しかつかない。その差分早く入るために増える荷物や、体力の消耗、体調不良のリスクなどを天秤にかけたら、そこは無理してまで並ぶべきところではないだろう。

特にビギナーほど、早く入らなければとやみくもに早くから待機してしまいがちだが、冷静な判断を！

それでも並ぶのならば、最低でも1、2時間は雨の中耐えられる装備が必要になる。次のリストを参考にし準備を整え、体調も万全にして臨んでほしい。

そして、待機中に調子がおかしいな、と思った時には、決して無理をせず早めにスタッフに申し出て救護所に行くか、その時点で帰宅すること。入場前に調子を崩してしまった時点で、これからの会期を動き通すのは無理だ。途中で帰宅しようにも完全に体調を崩して動けなくなってしまってからでは、遅い。